

## グローバル経済下での積極的CSR戦略のあり方に関する調査研究

### (報告書の概要)

昨今、わが国企業においては、企業の持続的発展の観点からCSR（企業の社会的責任）を積極的に評価し、活用すべきとの考え方が広がっている。

一方、企業を取り巻く社会においては、喫緊の重要課題が存在している。その中で、本調査研究では、少子化問題と教育問題に焦点をあてた。

企業が、地域社会の「良き企業市民」として、将来も永続的に活動を行っていくためには、国や地域社会と協力しつつ、直接的にこれらの問題の解決のために働きかけ、主体的に取り組んでいくべきではないか。

本調査研究では、主に国内の大手企業を対象にアンケート調査、文献・ホームページ調査、インタビュー調査を実施した。そして、少子化問題・教育問題それぞれへの対応について問題の現状分析をし、少子化問題・教育問題と企業との関係について整理したうえで、国内外企業の先進的な取り組み事例を合計22分野179事例取り上げた。

また、各企業の取組を推進している力（ドライビングフォース）について共通点をまとめるとともに、委員会での検討を経て、今後わが国の企業がとるべき方向性について少子化問題・教育問題の観点からそれぞれ4つの提言を行った。

### (報告書の主要構成)

#### 1. 少子化問題への対応

- (1) わが国における少子化問題について
- (2) 少子化問題解消への貢献に関するアンケート調査
- (3) 少子化問題解消への企業の貢献
- (4) 少子化問題解消への企業の取り組みの在り方

#### 2. 教育問題への対応

- (1) わが国における教育問題について
- (2) 教育問題への企業の取り組みに関するアンケート調査
- (3) 教育問題への企業の取り組みの現状
- (4) 教育問題への企業の取り組みのあり方